

広報よもぎた

- 2～3ページ.....農村総合整備モデル事業
- 4ページ.....米の検査規格改正について
- 5ページ.....あたらしい農業委員紹介
- 6～7ページ.....土木建設課情報
- 8～9ページ.....ほくたちのなつやすみ
- 10～11ページ.....談話室
- 12ページ.....おしらせコーナー



跳べ若い力!

1 m 82cmをクリアー

県中体連大会新・走り高跳び・7月24日・八戸市

蓬中3年・柿崎春人選手

1978

9月

編集と発行 蓬田村広報編集委員会 第117号

●農村総合整備モデル事業 (2)



農村総合整備モデル事業の全体的な概要については、今まで機会あるごとに説明してまいりましたが、それだけでは、自分たちの集落のどの場所がどのようになるのかはつきりしないため、先月号より各部落の具体的な場所を取り上げて検討しておりますが、今回は、阿弥陀川、蓬田部落の計画内容について以下述べていきます。

阿弥陀川
部落

モデル事業の計画の中で、阿弥陀川部落は蓬田村の中心の部落と位置づけられている。それは、数多い公共施設の大 half にこの部落が近接しているからである。しかし、宅地の前を入る道路は、未舗装が多く、除雪対策にもきわめて困難な場所が多い。又、宅地内の排水路も若干の個人的な排水路を除いては、系統的な排水施設がなく、家庭排水も雨水も放置されたままである。

従って、モデル事業によって取り上げたものは、道路、家庭排水路を中心に、さらに農業排水路の整備、農村環境改善センターを計画している。道路計画としては、裏通り線の完成を第一の目標としており、昭和五十一年度で蓬田部落と連絡する⑦の道路の用地買収と舗装工事を完了し、開通させたわけです。この道路は、営農、通学そして迂回用の道路として建設しましたが、工事単価等の関係から幅

員が四メートルしかとれず、やや不便を感じさせるものとなりました。

今年度では①及び②の道路の舗装と⑥の道路の用地買収を行う予定です。家庭排水路の新設計画については、前回で述べましたように用地確保のための時間と、さらに水質汚濁防止の観点から今年度の計画はしておりません。しかし農業排水路は、集中豪雨等の被害も受けやすく、早急改修の必要もあり、来年度からでも着工できるよう考慮しなければなりません。

最後に農村環境改善センターについては、今のところあくまでも計画の段階であり、用地取得が重要なポイントです。このセンターは計画当初より、村民がすべて平等に利用できるよう、交通の利便性現在の施設の利用状況、これからの利用による農業者の意識高揚などあらゆる面から検討され、この周辺の地域に建設することになったものでもあれ、現在のところまだ二〇%程度の進捗状況です。これからすべてが行われるわけです。

阿弥陀川部落概略図





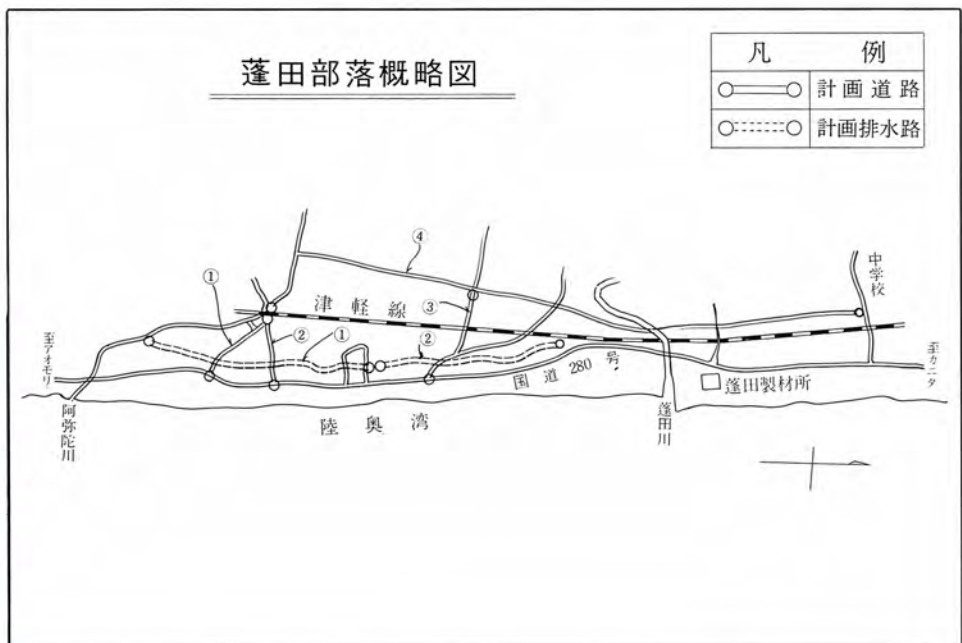
完成した新設農道（通学路）

蓬田部落

蓬田部落以北は、国鉄と国道の間が南部にくらべ接近しているため、現況の道路も線路横断する場合が非常に多く、そのため路線延長も短かくなつており、集落内道路といつても国道から水田に至る道路がほとんど整備計画となっております。

蓬田以北は各部落を直結する裏通り線がなく、営農、通学、緊急用自動車の通行など支障をきたすことも考えられる。そのため国道と併行する農道建設が必要であるとし、五〇年度より中学校前より南部へ新設農道の建設を開始しました。五十二年には既設の農道と連結させ、五十三年で全線舗装を完了する計画です。さらに前述のように、五十一年度に阿弥陀川と連結したことにより、隣接部落との裏通りが開通したわけです。昭和五十三年度においては、これら2集落道のうち①及び③の改良舗装を行う予定です。又、残事業については予算配分や他の計画との兼ね合いも

蓬田部落概略図



あり、早期着工を目指しているが、年次的なものについては、明らかではありません。





米の検査規格改正

昭和53年度産米から適用

昭和31年度から、長い期間にわたって据置かれてきた国内産米の検査規格（検査等級）が、米をめぐる情勢の変化により、このたび改正になりました。

●改正理由

- (1) 昭和44年の自主流通制度の発足以降、米の品質の評価が、等級よりむしろ銘柄（食味）に重きがおかれるようになった。
- (2) 近年稲作の機械化、省力化により、1～2等玄米の出回比率が減少した。
- (3) 精米機の性能、とう精技術の向上により、現行のような細分化された等級を必要としなくなった。
- (4) 米の等級を整理簡素化することにより、米の流通合理化、検査業務の能率化をはかる。

●等級区分

- (1) 玄米の等級区分は、現行1～3等を単純合併して1等に、現行4等を2等に、現行5等を3等にする。なお等外は現行どおりである。



- ◀ (2) 玄米の等級整理に伴い、もみについても現行1～2等を単純に合併して「合格」とする。

水稲うるち玄米

整粒歩合	90%	80%	70%	60%	45%	
現行級	1等	2等	3等	4等	5等	等外
整粒歩合	70%		60%	45%		
改正級	1等		2等	3等	等外	

これからの管理として落水は乾田では出穂後三十日、湿田では二十日以上経過して行ない、できるだけ湛水期間を長びかせ未熟粒や死米を少なくしましょう。

刈取りは、時期が早すぎると、青米が多く米粒の充実も不十分で収量が低下する。反対に遅すぎると糠層が厚くなり、光沢も劣るほか胴割れ米等の被害粒が多くなり品質の低下につながるため、天候の推移や登熟状況をみながら適期に刈取る。

今年の稲の作柄は六月以降の好天に恵まれ出穂期に至っても、高温、多照に経過したため、出穂は急速に進み、出穂期は八月六日で平年より八日、前年より七日早く、これまでの最早年の昭和四十二年より一日早まり、出穂期間も短かく、地域差がないことが特徴です。

又、病害虫もいもち病はやや多い程度で収量の影響は少ないものと思われ、豊作型が予想されます。

刈取り時期は、おおむね出穂後四〇～五〇日を目安とし、籾の九〇％が黄色になったら刈取る（コンバイン刈りの場合はこれより四～五日おくらせるようにする。）

機械乾燥では、胴割れ米の発生を防ぐため急激な乾燥や過乾燥を避け乾燥能率を一時間当り〇・八％以下に抑え、水分目標は玄米で一六％とする。以上の事柄を守り上位等級米生産に努めましょう。

今年の稲作と管理

蓬田村農協営農指導課長 坂本 敏



あたらしい農業委員を
ご紹介します



大宮 正一 (郷沢) 職務代理 武井照太郎 (蓬田)



三上 勲 (中沢) 県農業会議会議員 稲葉 武 (高根)



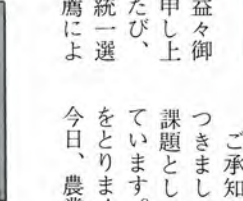
青木 久馬 (阿弥陀川) 共済評価委員 佐井 久治 (広瀬)



八戸 猛美 (阿弥陀川) 藤本 実 (長科)



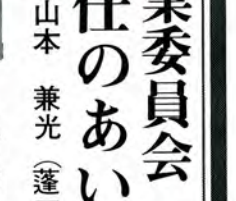
木村 繁 (瀬辺地) 農業協同組合選出 柿崎喜代作 (広瀬)



農業共済組合選出 高田 吉松 (郷沢)



学識経験者 浜田喜代作 (蓬田)



学識経験者 藤本 力衛 (長科)

蓬田村農業委員会
会長就任のあいさつ

山本 兼光 (蓬田)

晩夏の候、皆様には益々御健勝のことと、お慶び申し上げます。さて私事このたび、七月十四日の農業委員統一選挙により、各委員の推薦によ

り、蓬田村農業委員会会長の要職に就任することになりました。もとより浅学非才の身をもってこの大任に当ることに、一抹の不安と責任の重大さを痛感しているところであります。

ご承知のとおり食糧問題につきましても、国際的に重要な課題として論議の焦点となっております。このように、農村をとりまく諸情勢がきびしい今日、農業者には勿論のこと、

行政と一身同体、新しい発想と決断が要求されています。かかる視点に立ち、私は地域農業経済が揺らぐ激流に直面している今日その対処として、水田利用再編対策による転作物の収入減のため農村経済向上の浮揚策と、昭和六〇年代に予想される東北縦貫道路、青函トンネル等の高速交通に伴う青森県農業と我が村の農産物生産を考えてみるに、当然遊休農地の利用化が予想されます。又、国有林野の活用をはかるため、村行政との連携を益々深め、農家の皆様の声なき声に耳を傾け、規模拡大の確立を図りたいと思います。

農業経済発展向上のために



も、農業委員として農家の利益代表機関の使命・役割をこれまでに以上に痛感するところであります。ひいては、農業後継者育成のためにも微力をつくし、ご期待にそぐべく努力する所存です。前述のとおり、未熟な私でございますが何卒今後ともよろしく御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

暮らしを支える道路。

舗装作業中



完成

広瀬・高根線舗装工事

デコボコ、穴だらけ、そしてカーブ。雪解けには特に悩まれたあのドロコンコ道が、「高根ハイウェイ」と呼びたいくらい、すばらしい舗装道路に生まれかわりました。

工事完了



本村、広瀬部落から高根部落を結ぶ広瀬高根線は、広瀬高根橋架替工事を最初に、第一工区道路改良工事（広瀬部落内）、第二工区道路改良工事（高根部落内）、第三工区道路改良工事（圃場内）、及び舗装工事とわたり、本年度完成しました。

広瀬高根線舗装工事は、広瀬高根橋から高根部落を結ぶ延長二、四八〇メートルを五十一年度延長一、二〇〇メートル、幅員五・五メートル、舗装厚七センチメートル、五十二年度延長一、二八六メートル、幅員五・五メートル、舗装厚七センチメートルで施工しました。

● 人と道路

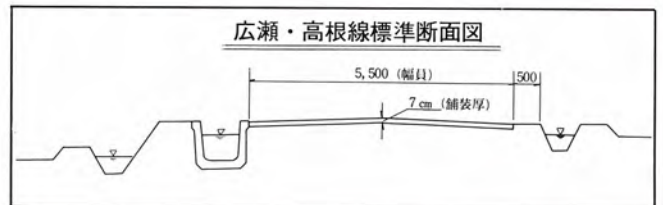
“道路は人間ドラマの橋渡し”と言われます。人と人、村と村、村と町をつなぐ道路は、私たちの生活に限りない恩恵を与えてくれます。鮮度が要求される農水産物はほとんど自動車輸送に頼っています。そしてよく整備された道路は、地震や火災という時、私たちを安全へ導く大切な命綱ともなる重要な役割もっています。

長い間、工事関係で交通の不便をかけたけれど、完成に至り、広瀬高根線の所要時間も短縮になり経済効果も多大となり、喜びにたえませぬ。

工事施工前



広瀬・高根線標準断面図



■用地の買収が終われば、その事業の半分が完了したと言えるほど、建設関係では用地買収が重要なポイントになっています。これからも皆さまの協力を、お願いします。

土木建設課

災害から村を守る。

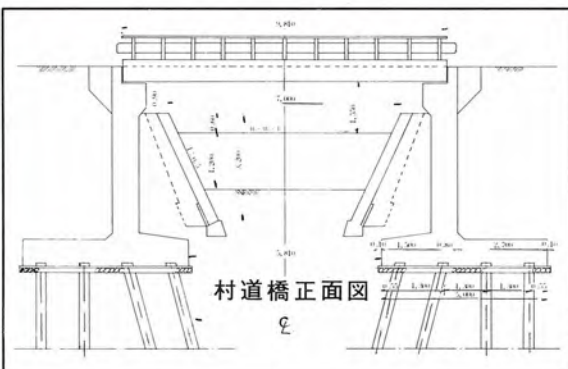


◀ 工事着工前

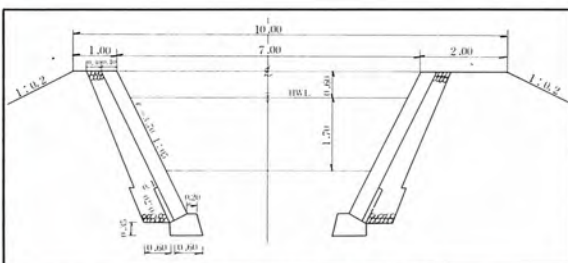
進行中 長科川災害 復旧関連事業

(S52年~54年3カ年計画)

▼52年度実施(海岸から国道橋まで)



本村の長科地域を流下する長科川は流域面積四・六キロ平方メートルに及ぶ普通河川であつて、昨年三月融雪水による災害をうけ、その復旧工事の認可がおりました。長科川は、鉄道橋より上流森林軌道付近までは圃場整備事業により、三面装工になっておりますが、鉄道橋より下流海岸までは原始河川そのものになつており、常に水害の危険にさらされ、地域住民に不安を与えてきたわけです。災害復旧関連事業により、海岸から鉄道橋までの延長二五・八メートルを昨年から三カ年の計画で実施し、工事に入っております。



両岸ブロック積標準断面図

実施計画では、延長二五・八メートルで河川幅七メートル、堤防幅(兼管理道路)左岸一メートル、右岸二メートルにし、ブロック積護岸及び村道橋を架替するという工事になります。五十二年実施では、海岸から国道橋(長科橋)までの延長四七メートルを完了しました。五十三年度は国道橋から村道橋の区間を実施し、また村道橋を架替します。五十四年度は村道橋から鉄道橋まで実施します。このような工程で、長科川災害復旧事業を進めていきます。



***チビっ子大作戦 (7月23:玉松台)**

子ども会初級リーダーと子ども会世話人の合同研修。チームワークを競う野外炊事に始まり、お昼は味くらべ交歓会。午後は小さな創作劇を発表しました。

▶ぼくがコック長です。
本日のメニューはおでん。



リーダーの役割って何だ
ここは梵珠少年自然の家。子ども会中級リーダー研修を8月4日〜5日の二日間行ないました。心に残るのは、キャンドルのつどい。そして、クタクタになってがんばったウオークラリー。

ぼくたちの なつ*の やすみ

あと少しで、夏休みも終わります。夏休みをふりかえってみると、なんだか私としては、ゆったり過ぎすぎたのではないかと思います。でも毎日学校に通っているときはできない事ができました。

たとえばキャンプ。私はこの間、子供会の上級リーダー研修のキャンプに参加しました。私にとって初めてのキャンプ生活でした。うちにいれば、ほとんど誰かがやってくれることを、自分が責任をもって仕事をしなければなりません。みんなが協力して一つ一つの仕事をするのは楽しかったのですが、やはり難しかったと思います。生活するために必要であることを、他人まかせにはいけないと自

『私の夏休み』

分自身で考えたことと、子供会について考え方を変えたことがキャンプでの収穫でした。叱られたこともありましたが、キャンプはとてもおもしろかったです。

そのほか、ゆっくり映画も見たし、久しぶりに親戚中を遊びまわったりで、楽しいことがたくさんありました。

最後までマイペースで過ごしたと思えるような夏休み生活にしたいと思います。

(蓬中2年 稲葉雅子)



▶子ども会上級リーダー研修





ハタチ
*20歳の村民体育大会

体づくりと村民交流の場となるこの大会は、子どもからお年寄りまで総参加。部落対抗の綱引きは、負けてたまるかとばかり、特に熱がはいります。



*夏の終わりをつげる盆踊り

赤い緒のゲタはいて、踊りの輪にはいります。お囃子の音が“さよなら夏”とうたいます。



わあ〜い!

さあ〜い!
わあ〜い!
君も乗れよ、ぼくの船



*朝のラジオ体操 —海でひと泳ぎ—
たまにはお父さんに手伝います。(ニンニク乾燥のハウス)



*虫 世界や、宇宙と星座の本を読みました
公民館の図書室では、七〇〇冊の児童図書をそなえ、母と子の読書活動を推めています。読書の季節は、お母さんも一緒にご利用ください。

談

話

室



メッセージ

No. 4



森 淳一 (阿弥陀川)

全国農村青少年技術 交換大会に参加して

今大会は広島県西条で行われた。国内はもとより遠く欧州、南米からの参加者も見られた。二泊三日のキャンプ生活を共にしながら個々の地域の現状を交えながらふれあつた。とかく自分のおかれていた環境に甘えがちな私にとつて、全国のクラブ員と接することにより、大局的な考え方を身につける良い機会であり、得るものも多かった。そ

の中でも、ひととき私を感動させたことがある。八月三日、バススクール(視察研修)は、瀬戸内海に浮かぶ生口島であった。みかんと観光の島である。島の現状を知らない私は、単なる風光明媚な島にすぎないとした。三原より高速艇は島を半周しながら、瀬戸田の港についていた。折しも台風の影響で、雨まじりの横なぐりの風

が暗いイメージをかもし出してた。しかし、その陰うつさを一変させるほどの歓迎を受けた。交流を予定している婦人会の人達である。我々はいつのまにか、干ばつに見まわられていた島に雨をもたらし救世主にされていた。少ない時間を惜しみつつ、互いの地域の現状を出しあいながらの交換会是我々若者が圧倒されるほどの真剣さであった。この島の主要作物はみかんである。みかんも水稲と同じく、作付面積の縮小を余儀なくされている。それは外国からの輸入量拡大と、誤つた農業行政のしわ寄せからである。それに拍車をかけたのが、今年の干ばつである。しかし、この地域は、その諸問題を打開するだけの力を備えている島であることから、農民の水への執着は強く、島全体のみかん畑に設置されているスプリンクラーによる灌水は我々を感嘆させた。決して良いとは言えない島の環境が、農民

の水を大切に扱う精神を産み出したものである。我々はこれらの感動を全身に受けながら島を後にした。来年はこの大会を青森で開催することを全国のクラブ員に約束し帰途についた。

農業を取り巻く情勢の厳しさの源は、日本の農民が今までの歴史から受け継いだ環境又、主体を行政に委ねたしわ寄せが、国内のあらゆる農民組織の弱体化をまねいた。4Hクラブの組織活動も例外ではない。親から子が、そのままた地を受け継ぐように衰退は目に見えている。今こそ主体を我々の手に取りもどし、我々の中にいつしか忍びこんでいる官僚機構からの脱却が必要なのではなからうか。最後に、来年開催される、第十九回全国農村青少年技術交換大会(青森大会)には皆さんの協力をお願いします。



★9月15日 敬老の日
おじいさん、おばあさん
おたっしやで。(一九六六年に国の祝日となる。)

★9月23日 秋分の日
昼と夜の長さの等しい日が一
年に春・秋二回ある、その秋
の方の日。「彼岸の中日」

こどもの カレンダー

★9月17日 十五夜

中秋の名月といわれる十五夜は、としによって日がちがいますが、月がまんまるくみえる夜のことです。月がみえるえんがわに、すすきや、おだんごや、くだものをかざって、月をみながらおはなしをしましょう。



幼稚園児の合同作品

親の立場



子の立場

問 臆病で病気や小さな虫でもこわがります。どうすればよいでしょうか。

答 病院をこわがるのは、どこのお子さんにも見られるようです。玄関に入っただけで泣き出すのもあれば、お医者さんの白衣を見たときに泣き出すものもあります。

考えて見ますと、今のお子さんはいろいろ予防注射のために病院に連れていかれます。その度に針で注射です。このところまでは、心理的にはさして問題はありません。

「病院に連れて行って、針を刺してもらいますから。」と、お子さんをおどかして

る場合がけつして少なくありません。

こうしてしつけられたお子さんですから、本当に病気になる時でも病院がこわくて仕方がないのです。そして、注射器を見ると恐怖心をおこして泣きます。極端にいえば母親が、お子さんを、お医者さんと病院をこわがらせるようにしてしまつたのです。これをなおすには時間がかかります。おそらく小学校に入學してからでないでしょうか。

子どもというのは、はじめどんな虫でもこわがります。それが、いつの間にかこわがらなくなつてしまふのが、普通のようです。それを、「どんな小さな虫でも、こわがる」というのは、以前に虫に刺されてひどい目にあつたとか、蚊に刺されてひどいかゆさがあるからでないでしょうか。考えてみますと三、四歳児といふのは、一番こわいもの知らずです。世の中に一つや二つ、こわいものがあつてもよいのではないのでしょうか。



でんべえと はんべえ

昔、津軽のある村に「でんべえ」という男と「はんべえ」という男がすんでおりました。ふたりはとなり

どうしてしたがたいへん仲が悪く、いつもけんかばかりしていました。ある日「でんべえ」が「はんべえ」の家の前を通りながら、ふと窓から中を見ると、「はんべえ」がいしそうにいもをたべているのがみえました。そこで「でんべえ」が、「おい、はんべえ、そんなにいもをくうとおなかがはんべえ？」といいました。

うに食べている所がみえました。そこで「はんべえ」はこの時とばかり、「でんべえ、でんべえ、そんなにゴボウば食つたら、へがでんべえ。」と大声で笑つたという話です。



むらの文化財

失われゆく民具

平地だと牛馬を使うことができる山の中では自ら背負つて運ぶしかなかった。人間自身が人力でいかに能率的かつ安全に物を運べるかということが生まれきたのが、ショイコである。

背中当たる部分に緩衝のための縄がまきつけてあり、炭・薪・草・稲など重いものや、かさになるものを運んだ。男女を問わずこれで三〇キロ以上の荷をつけて運んだという。材料としては杉が最も多く用いられ、次いで松、ヒバが多い。



ショイコ 幅 35cm 高さ 133cm



戸籍の窓口

7月受付分

(市町村名は本籍の表示です。)

森 昭 (昭義・二男)
 佐々木 徹 (隆敏・二男)
 小野由紀子 (英雄・長女)
 山口 茂男 (茂春・長男)
 張間 誠 (市郎・長男)
 武井 恵 (正豊・長女)
 松本 孝紀 (順一・三男)
 張間 映恵 (博好・長女)
 八幡 清彦 (勝・長男)
 工藤 達也 (義則・三男)

◎お誕生おめでとうございます。

金沢 礼子 (青森市)
 室谷 邦憲 (長科)
 山本 清貴 (中沢)
 藤崎 悦子 (広瀬)
 川崎 国光 (平内町)
 逢坂 嘉子 (青森市)
 三橋 知賀雄 (阿弥陀川)
 八戸 君子 (瀬辺地)
 山田 忠佳 (金木町)
 其田 善美子 (青森市)
 玉熊 勝 (瀬辺地)
 小野 勝 (瀬辺地)
 白石 睦子 (蟹田町)
 芳賀 作 (蓬田)

◎結婚おめでとうございます。

中野村 敏雄 (山梨県)
 小野寺 達子 (高根)
 小野 敏雄 (郷沢)
 阿部 友子 (北海道)
 中村 充 (蓬田)
 深堀 美由紀 (長崎県)
 ◎お悔み申し上げます。
 田中 ツナ (広瀬)
 佐々木 与作 83 (中沢)



老人憩の家

基礎工事完了



おしらせ

9月3日 蓬田中学校運動会
 9月6日 妊婦検診 (中央公民館)
 9月11日 秋の清掃検査 (郷沢~高根)
 9月12日 " " (中沢~蓬田)
 9月17日 蓬青協駅伝大会
 9月26日 3才児検診 (中央公民館)



ご意見を お寄せください

みなさまの広報に対するご意見、ご要望を係までお寄せください。地域の話や、「思い出の写真」がありましたら、広報へご紹介願います。便りをお寄せくださった方には広報をとじておくファイルをさしあげます。
 《農業クイズ》のあて先
 蓬田村中央公民館

広報係

農業クイズ (第3回)

問

- (1) かぼちゃ、しその葉、人参の三つのうち、ビタミンAの多い順はどれどれか。
- (2) 人間と豚の新生児を比較したら、どちらが重いでしょうか。(平均的に)
- (3) 電気のスイッチは左手で扱った方がよいか、右手の方がよいか。
- (4) 乾田と湿田では、湿田に良い堆肥を施さなければいけないというが、なぜですか。
- (5) 川水と、沸かしてさました水を皿に入れて種籾を入れたら、川水の方が早く芽が出ました。なぜでしょうか。

●— 前回の解答 —●

1. その頃はまだ温度が高くて、種いもが休眠している。
2. 鶏や犬には皮膚に汗腺がないから。
3. 乾燥してくると水にとけた果糖が表面に出てくる。これが更に水分が蒸発すると、果糖の結晶が表面に残る。
4. サイダーの方がいい。(ビール12℃, サイダー10℃)
5. 深植えすると地温が低く、酸素も不足して新しい根が出にくいので、浅植えがよい。